

授業料不徴収協定に基づく派遣交換留学 終了報告書

所属(本学)	生命理工学院 生命工学系 生命工学コース		
現在の学年	修士 2 年		
留学先国	ドイツ	留学先大学	アーヘン工科大学
留学期間	2016 年 8 月 29 日～2017 年 8 月 28 日		

① 留学先大学(機関)の概略

ドイツの最西端に位置するアーヘンという街にある国立大学。工科大学との名前がついているが、工業系だけでなく私が所属していた生物系に加え、経済学などの文系学部も存在する。44000 人の学生のうち約 20% が留学生であるため、国際色豊かで留学生としてもすごしやすい。

② 留学前の準備

指導教員の先生と相談し、修了は一年遅らせることにした。就職活動は帰国後に始めることにした。修士論文については帰国後に、帰国前に行っていたテーマにするか留学中のテーマを引き続き行うか相談することにした。

③ 留学中の勉学・研究

研究室に所属し、研究活動を行った。ドイツ語が全く出来なかったため、はじめの半年のみドイツ語講座(週二回、各 90 分)を受講していたが、研究のために留学に来ていたので、後半半年は研究に専念するため授業は全く受講しなかった。

ドイツ語は A1 レベルを修了し、日常生活で見かけるある程度の言葉や言い回しは学べた。

④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

月に一度ほど週末を使ってヨーロッパの都市に旅行した。また、元々趣味であったフルマラソンに出場した。

⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

元々英語はある程度話せており、コミュニケーションは取れていたが、日本人英語であったので、頻繁に Sorry と言って不思議がられたり、結論の前に理由を長々と話してむずがゆい思いをさせたりしたが、後半になるにつれて、コミュニケーションを取れるだけでなく、英語らしい表現の仕方を身につけられたので、会話が圧倒的にスムーズになった。

⑥ 留学費用

渡航費: 片道 5.5 万円

生活費: 5 万円/月 + 旅行費

住居: 2.8 万円(家賃) + 2 千円(光熱費) + 800 円(インターネット) / 月

保険料: 24 万円 (10 万円 → 東工大、14 万円 → 大学指定)

奨学金: 8 万円/月 JASSO

⑦ 留学先での住居

4 人フラットシェア(トイレ、シャワー、キッチン共用、各自プライベートルーム有)の寮に住んでいた。フラットシェアは家賃も安く(シングルルームより約 13000 円/月 安い)人気が高いのでドイツ語の話せないアジア人は特に入居が難しく、(入居のためにフラットに住んでいる人と面接がある場合がほとんど)留学開始 1 か月後にやっと入居できた。それまでは自分で探した個人経営のフラットシェアに住んでいた(家賃 47000 円)。申し込みは、大学への出願時に案内が来るので、それに従って行えばよい。私以外の住人は全員男性でそれぞれカメルーン人、コンボ人、メキシコ人と国際色溢れるメンバーだった。男女一緒のフラットがほとんど。ほかの日本人はほとんどシングルルームに住んでいた。

⑧ 留学先での語学状況

研究室でドイツ語が話せないのは私だけであったが、ミーティング・雑誌会・ワークショップ等全て英語で行ってくれた。家でもドイツ語より英語が話せる人が多かったので基本英語で会話した。役所やお店で英語がたまに通じず苦労したが、たまたま近くにいた知らない人に通訳をお願いして乗り切った。TOEFLiBT70点、TOEIC805点であったが特に初めから英語で苦労はしなかった。

⑨ 単位認定(互換)、在学期間

JASSO 奨学金は単位互換が必須であったので、研究活動を修士インターンシップ第四(6単位)に互換する予定。在学は1年延長する。

⑩ 就職活動

就職活動は特に行わなかった。帰国後、一年遅れで冬のインターンシップを申し込み、就活を始めようと思う。

⑪ 留学先で困ったこと(もしあれば)

特に大きな問題はなかったが、日本に比べ役所や手続き関係が遅く、雑なのでかなり余裕を持って動かないと行けなかった。

⑫ 留学を希望する後輩へアドバイス

留学生活は最初行く勇気さえ出してみればとても楽しく、いろいろな意味で大きなステップアップになると思うのでぜひ行ってみてください。